

2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年4月9日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001
 四半期報告書提出予定日 2021年4月9日 配当支払開始予定日 2021年5月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	31,643	0.4	2,662	△18.9	2,584	△23.3	1,913	△7.3
2020年8月期第2四半期	31,513	10.7	3,285	22.9	3,370	36.6	2,063	42.9

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 2,084百万円(5.7%) 2020年8月期第2四半期 1,973百万円(41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	81.99	74.35
2020年8月期第2四半期	86.44	86.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	53,188	19,264	36.2
2020年8月期	53,392	17,763	33.3

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 19,264百万円 2020年8月期 17,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年8月期	—	25.00			
2021年8月期(予想)			—	40.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,143	16.4	8,212	46.2	7,884	35.3	4,963	194.1	212.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年8月期2Q	23,980,000株	2020年8月期	23,980,000株
2021年8月期2Q	639,784株	2020年8月期	639,745株
2021年8月期2Q	23,340,217株	2020年8月期2Q	23,870,388株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2021年4月9日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年9月1日～2021年2月28日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響については、新規感染者数の再拡大の傾向もみられる中、1月に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が都市部を中心に再度発令されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。消費マインドも持ち直しの兆しがあったものの足元は弱含んでおります。同様に、世界経済においても各国において新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種が進められているものの、渡航制限等の対策を継続しており、厳しい経済環境が続いております。

また、国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、前年の消費税率引き上げの反動もあり、足元では依然としてマイナスの傾向が続いております。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げている商品ラインアップの多様化及びデジタルトランスフォーメーションの推進などの取り組みを進めてまいりました。国内アイウェア事業においては、店舗で待ち時間なく商品を受け取れる新サービス「CLICK&GO」を開始し、また店舗開発につきましては、都心でのショッピングを避ける傾向も見受けられることから、より生活圏に近い立地への出店を進めるなど、新しい生活様式に対応した取り組みを進めてまいりました。商品開発につきましては、「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めており、当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は216百万円となりました。

店舗展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるアイウェアショップの店舗数は、国内428店舗、海外212店舗(中国168店舗、台湾33店舗、香港6店舗、米国5店舗)の合計640店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高はアイウェア事業は各国での新規出店等により伸びているものの、雑貨事業の撤退による影響もあり31,643百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益はコンタクトレンズ「JINS 1DAY(ジズワンデー)」のTVCM等により広告宣伝費が増加したこと等により2,662百万円(前年同期比18.9%減)、経常利益は2,584百万円(前年同期比23.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は子会社の清算に伴う繰延税金資産の計上もあり1,913百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	25,451百万円	80.4%	4.0%
海外アイウェア事業	6,191百万円	19.6%	6.3%
合計	31,643百万円	100.0%	0.4%

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 合計の前年同期比増減には雑貨事業から撤退した影響が含まれております。

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、TVCM等の広告施策を展開したコンタクトレンズ「JINS 1DAY(ジズワンデー)」の無料お試しキャンペーンが好評だった他、世界中で愛され続けているキャラクター「ポケットモンスター(ポケモン)」をJINSならではの視点でデザインした「JINS ポケモンモデル」が売上を牽引しました。また、エアフレームの最上級モデル「Ultra Light Airframe」をはじめとした高付加価値商品が好調だったこと等による一式単価の上昇により、引き続き売上高総利益率が改善しました。新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、海外渡航者の入国制限が継続していることからインバウンドの売上が大きく減少したことに加え、1月に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が都市部を中心に再度発令されるなど、とりわけ都心を中心とした繁華街への往来を避ける傾向が続いており、業績への影響を注視しております。

店舗展開につきましては、国内店舗数は428店舗(出店17店舗、退店4店舗)となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高25,451百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益2,471百万円(前年同期比24.0%減)となりました。

〈海外アイウエア事業〉

海外アイウエア事業につきましては、中国、台湾においては、政府による新型コロナウイルス感染症の対策もあり、業績は底堅く推移しております。

香港においては、政情不安によるデモ騒動の影響は沈静化しつつあり、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷からも回復基調にあります。業績はこれにより順調に回復しております。

米国においては、新型コロナウイルス感染症の拡大は緩やかになっているものの、出店しているカリフォルニア州を中心に依然として経済の停滞が続いております。店舗は全店で営業を再開しましたが大幅な入店制限を余儀なくされており、EC販売に注力しております。

店舗展開につきましては、中国168店舗（出店9店舗、退店3店舗）、台湾33店舗（出店3店舗、退店なし）、香港6店舗（出店、退店なし）、米国5店舗（出店、退店なし）の合計212店舗となりました。

以上の結果、海外アイウエア事業の業績は、売上高6,191百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益191百万円（前年同期比132.5%増）となりました。

なお、雑貨事業につきましては前連結会計年度末をもって撤退しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2020年8月期末 (2020年8月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (2021年2月28日)	増減	増減率(%)
総資産	53,392	53,188	△204	△0.4
負債	35,629	33,924	△1,705	△4.8
純資産	17,763	19,264	1,501	8.5

(イ)資産

流動資産は、34,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品が940百万円増加したものの、現金及び預金が1,112百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、18,296百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。

以上により、総資産は、53,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円減少いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、11,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,426百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が1,091百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、22,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ279百万円減少いたしました。

以上により、負債合計は、33,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,705百万円減少いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、19,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,501百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより583百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,913百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期通期の業績予想につきましては、2021年4月5日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,667	23,555
受取手形及び売掛金	4,484	4,319
商品及び製品	4,344	5,285
原材料及び貯蔵品	241	314
その他	1,366	1,417
流動資産合計	35,104	34,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,274	7,124
その他(純額)	1,893	1,884
有形固定資産合計	9,168	9,008
無形固定資産	2,240	2,136
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,317	4,281
その他	2,561	2,870
投資その他の資産合計	6,879	7,152
固定資産合計	18,288	18,296
資産合計	53,392	53,188

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,745	1,799
短期借入金	1,753	1,980
1年内返済予定の長期借入金	1,064	1,060
未払金及び未払費用	4,296	3,979
賞与引当金	49	44
未払法人税等	2,175	1,084
資産除去債務	47	—
その他	1,705	1,463
流動負債合計	12,838	11,412
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,211	20,173
長期借入金	294	234
資産除去債務	517	521
その他	1,767	1,582
固定負債合計	22,791	22,511
負債合計	35,629	33,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	16,622	17,952
自己株式	△5,002	△5,002
株主資本合計	18,050	19,380
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△287	△116
その他の包括利益累計額合計	△287	△116
純資産合計	17,763	19,264
負債純資産合計	53,392	53,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
売上高	31,513	31,643
売上原価	7,079	6,585
売上総利益	24,434	25,057
販売費及び一般管理費	21,148	22,394
営業利益	3,285	2,662
営業外収益		
受取利息	2	42
受取手数料	27	31
受取賃貸料	3	4
為替差益	42	93
還付消費税等	345	—
補助金収入	—	19
その他	22	15
営業外収益合計	443	206
営業外費用		
支払利息	87	82
社債発行費	90	—
支払手数料	7	0
不動産賃貸費用	151	181
開業費償却	17	—
その他	4	20
営業外費用合計	358	285
経常利益	3,370	2,584
特別損失		
固定資産除却損	102	17
減損損失	—	209
店舗閉鎖損失	19	1
特別損失合計	122	228
税金等調整前四半期純利益	3,247	2,355
法人税、住民税及び事業税	1,211	758
法人税等調整額	△27	△316
法人税等合計	1,184	441
四半期純利益	2,063	1,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,063	1,913

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	2,063	1,913
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△90	171
その他の包括利益合計	△90	171
四半期包括利益	1,973	2,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,973	2,084
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,468	5,826	1,218	31,513	—	31,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	355	6	—	361	△361	—
計	24,823	5,832	1,218	31,875	△361	31,513
セグメント利益又は損 失(△)	3,249	82	△46	3,285	—	3,285

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,451	6,191	31,643	—	31,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	281	6	288	△288	—
計	25,733	6,198	31,931	△288	31,643
セグメント利益	2,471	191	2,662	—	2,662

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内アイウェア事業」セグメントにおいて、減損損失209百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末において「雑貨事業」から撤退しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2020年の年末に向けて状況が改善すると仮定しておりましたが、依然として感染症の影響が長引いております。

今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、当連結会計年度の下期にかけて状況が改善すると仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。